

# インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：8月レポート

野村亮輔（副主任研究員）  
 福田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）  
 松林洋一（APIR 上席研究員）  
 内容に関するお問い合わせは下記まで  
 e-mail: nomura-r@apir.or.jp

## ポイント

### ●9月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、8月の訪日外客総数(推計値)は**293万3,000人**であった(前年同月比+36.0%)。学校休暇による訪日旅行需要が増加した影響もあり、8月としては過去最高値を更新。また、同月の出国日本人数は**143万7,100人**であった。夏季休暇による海外旅行需要の高まりも影響し、**2カ月連続で100万人超の水準**となった(同+19.6%)。ただし、**19年同月比でみれば-31.9%**とコロナ禍前の水準は依然回復できていない。

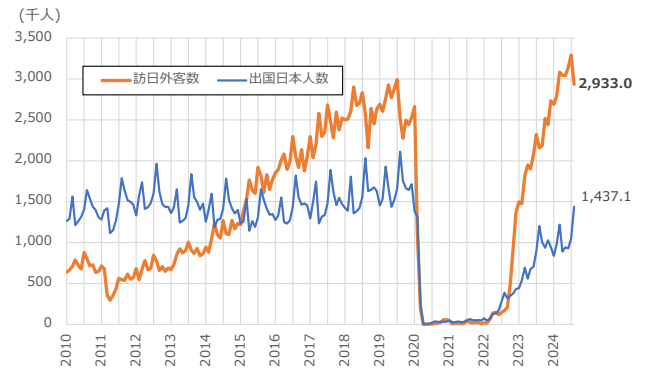
▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、8月は**中国が74万5,800人**(前年同月比+104.8%)で最多であった。次いで韓国が61万2,100人(同+7.6%)、台湾が56万4,300人(同+42.4%)、香港が24万6,600人(同+19.6%)、米国が17万4,000人(同+25.8%)と続く。なお、**イタリア(3万4,700人)とスペイン(2万5,900人)が単月過去最高値**となった。

▶目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図3及び表5)、6月は**314万642人**であった(前年同月比+51.5%)。うち、**観光客は291万3,631人**、9カ月連続で**200万人超の水準**となり、**単月過去最高値を更新**した(同+54.8%)。商用客は10万2,531人(同+14.1%)、**その他客は12万4,480人**(同+22.9%)であった。

▶観光客のTOP5を国・地域別にみれば(表5)、6月は韓国が**67万6,967人**(前年同月比+29.7%)と最多であった。次いで中国が60万9,272人(同+270.4%)、台湾が56万1,037人(同+48.1%)、米国が28万1,918人(同+32.0%)、香港が24万7,237人(同+34.7%)と続く。なお、**台湾と米国が単月として過去最高値**となった。

▶10月1日より中国の国慶節に伴う大型連休が始まったことに加え、紅葉シーズンを迎えることもあり訪日旅行需要の増加が期待されている。特にこれまで回復が遅れていた**訪日中国人客の動向が気になる**ところである。関西国際空港が9月25日に発表した8月の国際線旅客便の発着回数によれば、**中国方面の発着回数はコロナ禍前の8割**(19年同月比-19%)を回復した。中国方面の旅客便は着実に回復しつつあるが、中国国内の景気停滞もあり訪日旅行消費の伸び悩みが懸念されている。このため、訪日中国人客の消費回復には引き続き注意が必要である。

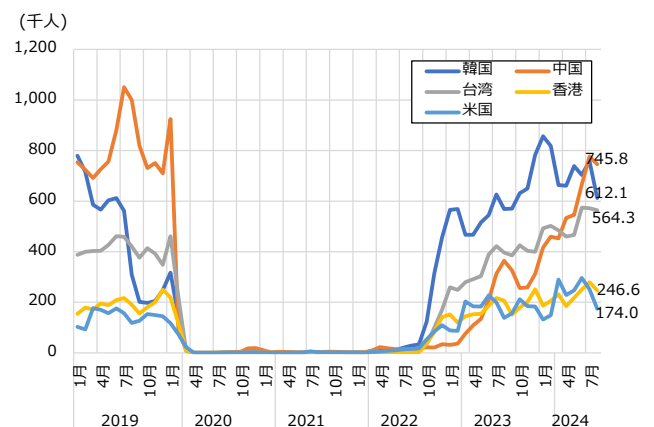
図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

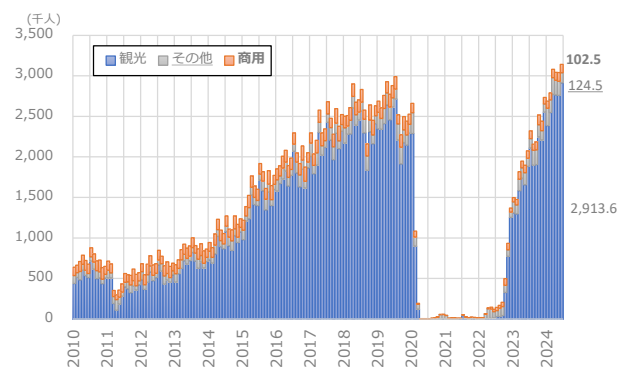
注) 2022年まで確定値。23年、24年1-6月は暫定値、24年7-8月は推計値

図2 上位5カ国・地域別訪日外客数の推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

図3 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

\*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

## トピックス 1

### ● 8月関西の財貨・サービス貿易及び7月のサービス産業動向

▶ 関西8月の輸出額は前年同月比+4.5%と4カ月連続で増加した(前月:同+7.7%)。また、輸入額は同+4.1%と5カ月連続の増加(前月:同+13.8%)。結果、**関西の貿易収支は+1,629億円と7カ月連続の黒字となり(図4)、黒字幅は同+8.9%拡大した(前月:同-42.3%)**。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、**関西8月の対中輸出は前年同月比+1.1%と6カ月連続で増加した(前月:同+9.3%)**。輸出増に寄与したのは半導体等製造装置や半導体等電子部品等であった。一方、**対中輸入は同-9.2%と5カ月ぶりの減少(前月:同+17.2%)**。輸入減に寄与したのはがん具及び遊戯用具や衣類及び同付属品等であった。

▶ **8月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は76万2,632人(前月:83万1,035人)となり(図6)、8月としては最高値となった**。前年同月比+28.9%と前月(同+38.2%)から減速したものの2桁増加が続いており、**外国人入国者数は好調を維持している**。また、8月の日本人出国者数は27万6,060人、同+28.8%と大幅増加した。なお、19年同月比では-33.5%と前月(同-39.3%)からマイナス幅は縮小したものの、全国と同様に依然コロナ禍前の水準を回復できていない。

▶ **7月のサービス業の活動は一進一退で推移している(図7)**。サービス業の生産活動を示す**第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)**をみれば、7月は102.6で前月比+1.4%上昇し、**2カ月ぶりのプラス**となった(前月:同-1.2%)。7月を4-6月平均と比較すると、+0.7%上昇した(4-6月期:前期比+1.1%)。また、**対面型サービス業指数\***は98.6で同+2.7%上昇し、**3カ月ぶりのプラス(前月:同-0.1%)**。うち、**運輸業(同+6.9%、3カ月ぶり)や宿泊業(同+3.0%、2カ月連続)が上昇に寄与した**。結果、7月の対面型サービス業指数は4-6月平均比+2.5%上昇した(4-6月期:前期比+1.8%)。

▶ **観光関連指数\*\* (2015年平均=100)は、91.9と前月比-1.4%低下し、4カ月ぶりのマイナスに転じた(前月:同+0.5%)**。うち、**飲食店、飲食サービス業(同-2.1%、3カ月ぶり)、劇場・興行団(同-22.2%、2カ月連続)等が低下に寄与した**。7月の観光関連指数を4-6月平均と比較すると、-0.7%低下した(4-6月期:前期比-0.9%)。

\*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

\*\*観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

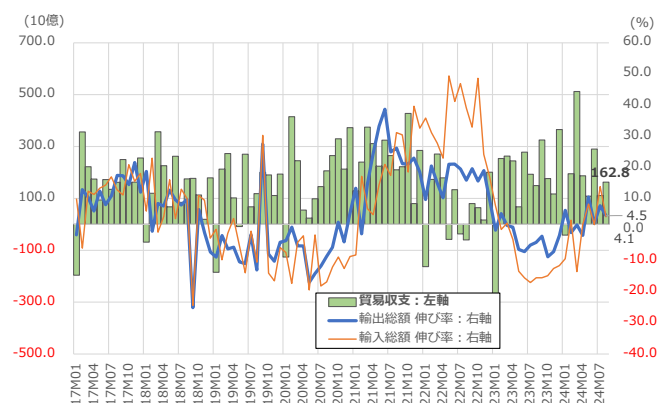
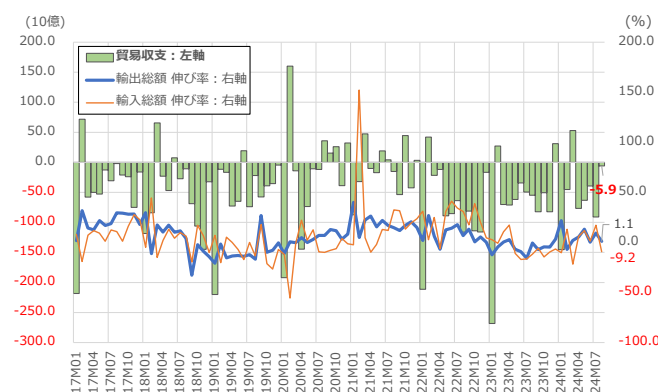
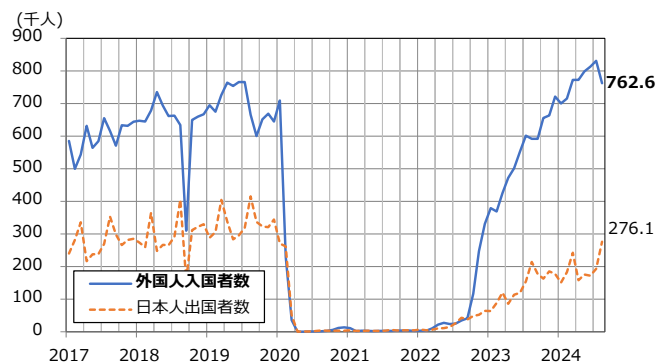


図5 関西 対中貿易の推移



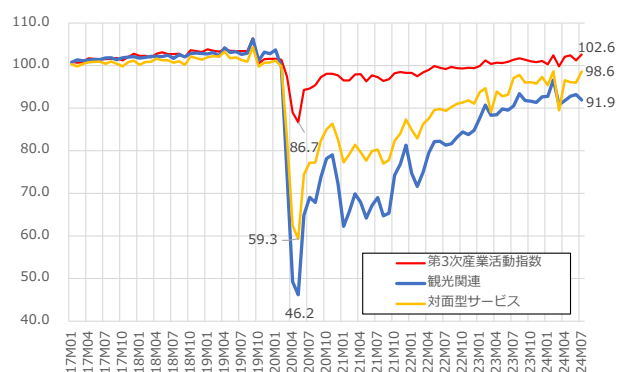
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2024年8月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

## トピックス 2

### ● 6月延べ宿泊者数の動向：関西 2府 8県

▶観光庁によれば、6月の関西 2府 8県の延べ宿泊者数(全体)は10,628.3千人泊であった(表1)。前年同月比では+11.6%と増加幅は前月(同+11.1%)から小幅拡大した。

▶日本人延べ宿泊者数は6,739.1千人泊となった。前年同月比-0.7%と2カ月連続で減少しており(前月：同-2.3%)、日本人延べ宿泊者数は停滞している(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 2,343.7千人泊、京都府 1,348.3千人泊、兵庫県 1,076.6千人泊、三重県 585.7千人泊、滋賀県 322.7千人泊、和歌山県 279.0千人泊、福井県 245.7千人泊、鳥取県 195.1千人泊、奈良県 179.5千人泊、徳島県 163.0千人泊であった。前年同月比でみると、**京都府が13カ月連続で減少**しており、日本人延べ宿泊者の減少に寄与した。

▶外国人延べ宿泊者数は3,889.2千人泊となった。前年同月比+42.2%と6カ月連続で2桁の伸びが続いている(前月：同+51.2%)(表1及び図9)。日本人延べ宿泊者に比して、**外国人延べ宿泊者は好調を維持**している。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 2,263.6千人泊、京都府 1,345.0千人泊、兵庫県 116.2千人泊、和歌山県 60.8千人泊、滋賀県 28.4千人泊、奈良県 27.3千人泊、三重県 19.9千人泊、徳島県 11.1千人泊、鳥取県 10.9千人泊、福井県 6.2千人泊であった。前年同月比をみれば、**大阪府(同+45.2%)や京都府(同+35.6%)が増加に寄与**した。

▶関西 2府 8県延べ宿泊者を居住地別でみると(図10)、県内の延べ宿泊者数は1,313.6千人泊、県外は8,967.5千人泊であった。前年同月比では県内は同-3.5%と15カ月連続のマイナス(前月：同-8.9%)。一方、県外(含む外国人)は同+15.7%と32カ月連続のプラスとなった(前月：同+14.4%)。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

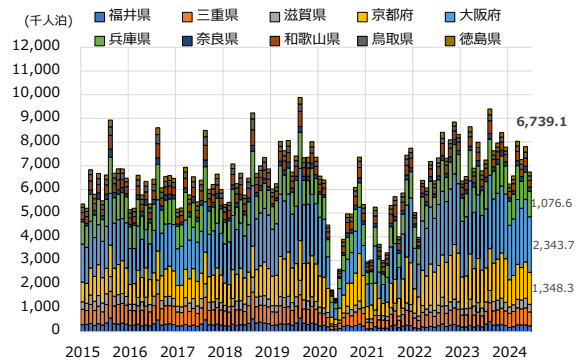


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

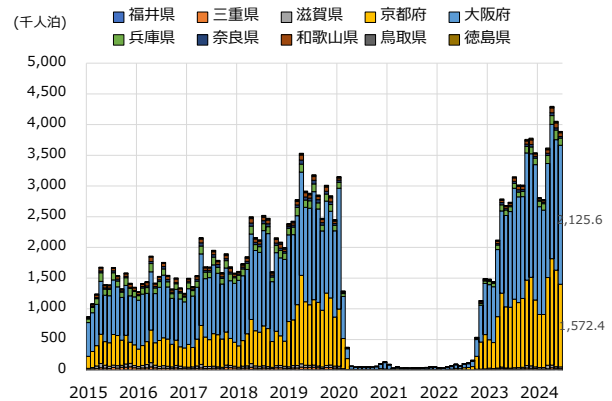
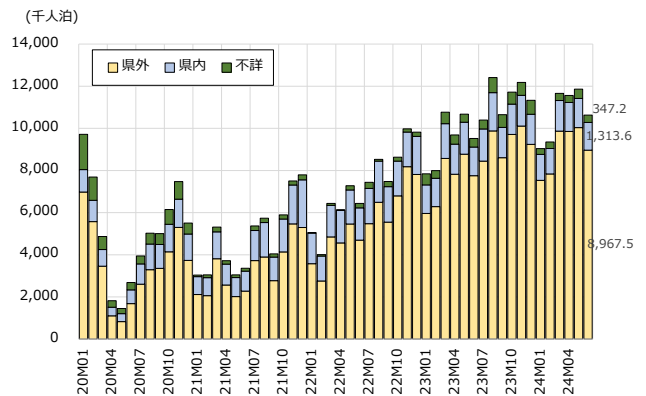


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：6月

2024年6月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前年比伸び率： 前月(%)
福井県	251.8	21.1	10.3	245.7	20.2	7.7	6.2	71.8	120.0
三重県	605.5	26.3	29.0	585.7	25.9	28.5	19.9	37.8	49.2
滋賀県	351.1	3.1	1.9	322.7	-0.4	0.5	28.4	73.6	33.2
京都府	2,693.2	4.1	8.8	1,348.3	-15.5	-17.4	1,345.0	35.6	58.0
大阪府	4,607.3	18.9	14.1	2,343.7	1.2	-1.9	2,263.6	45.2	42.9
兵庫県	1,192.7	5.8	-0.6	1,076.6	2.5	-6.1	116.2	49.0	75.4
奈良県	206.7	2.9	14.3	179.5	0.5	12.9	27.3	22.2	25.0
和歌山県	339.8	5.4	10.2	279.0	-2.3	-3.2	60.8	65.0	175.5
鳥取県	206.0	8.3	32.9	195.1	5.3	29.6	10.9	120.9	216.7
徳島県	174.2	-8.2	5.8	163.0	-10.1	3.4	11.1	33.3	54.7
関西2府4県	9,390.9	11.1	9.7	5,549.7	-3.5	-6.4	3,841.2	42.1	50.8
関西2府8県	10,628.3	11.6	11.1	6,739.1	-0.7	-2.3	3,889.2	42.2	51.2
全国	50,360.0	6.3	5.0	36,894.2	-2.4	-4.7	13,465.8	40.7	50.4

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図8~10及び表1)より筆者作成

### トピックス 3

#### ● 2024年4-6月期訪日外国人訪問率と消費単価：関西

▶ 2024年4-6月期における関西各府県の訪問率をみると(図11)、**大阪府41.1%が最も高く**、次いで京都府30.9%、奈良県8.6%、兵庫県5.4%、和歌山県1.4%、三重県0.8%、滋賀県0.4%、徳島県0.3%、鳥取県0.3%、福井県0.2%と続く。前年同期と比較すると(表2)、大阪府(+1.2%ポイント)、奈良県(+0.5%ポイント)、京都府(+0.5%ポイント)、徳島県(+0.1%ポイント)、三重県(+0.0%ポイント)はいずれも上昇。一方、兵庫県(-1.3%ポイント)、滋賀県(-0.4%ポイント)、和歌山県(-0.3%ポイント)、鳥取県(-0.1%ポイント)、福井県(-0.0%ポイント)はそれぞれ低下した。

▶ 当該期間の各府県の訪問率に訪日外客数を乗じて推計した関西における訪日外客数を要約しておこう。推計された2024年4-6月期の訪問者数を降順にみれば(表2)、**大阪府が379万5,236人(前年同期比+60.2%)と最も多く**、次いで京都府が285万1,166人(同+58.2%)、奈良県が79万7,695人(同+65.6%)、兵庫県が49万9,153人(同+25.6%)、和歌山県が12万7,752人(同+27.0%)、三重県が6万9,853人(同+57.2%)、滋賀県が3万7,781人(同-17.4%)、徳島県が2万8,502人(同+90.2%)、鳥取県が2万4,074人(同+25.3%)、福井県が1万6,852人(同+51.2%)と続く。

▶ 表3は2024年4-6月期の関西における訪日外国人消費単価(旅行者1人1回当たりの旅行消費金額)を示している。**関西2府4県では前年同期比+8.4%増加した**。費目別にみれば、買物代(同+39.2%)や宿泊費(同+24.4%)が大幅増加した一方、娯楽等サービス費(同-20.6%)や飲食費(同-2.1%)は減少した。

▶ なお、2024年4-6月期の関西における消費額をみれば、**訪日外客消費額は5,424.5億円、前年同期比+63.0%**大幅増加した。なお、同期の全国の消費額は2兆1,402億円、同+73.7%となり、関西は全国の伸びを幾分下回った。

\*全国の費目別消費単価及び消費額については本レポート No.61 を参照。

図11 訪日外国人訪問率の推移：関西2府8県

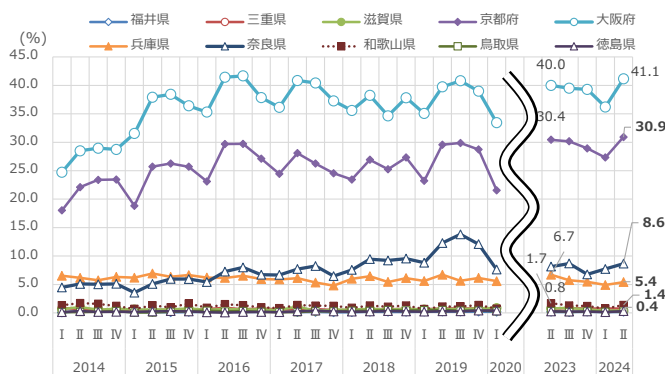


表2 訪日外客の訪問率と人数：関西2府8県

府県ベース	23Q2	24Q2	府県ベース	23Q2	24Q2	前年比伸び率
福井県	0.2	0.2	福井県	11,145	16,852	51.2
三重県	0.8	0.8	三重県	44,425	69,853	57.2
滋賀県	0.8	0.4	滋賀県	45,733	37,781	-17.4
京都府	30.4	30.9	京都府	1,802,208	2,851,166	58.2
大阪府	40.0	41.1	大阪府	2,368,371	3,795,236	60.2
兵庫県	6.7	5.4	兵庫県	397,311	499,153	25.6
奈良県	8.1	8.6	奈良県	481,708	797,695	65.6
和歌山県	1.7	1.4	和歌山県	100,622	127,752	27.0
鳥取県	0.3	0.3	鳥取県	19,216	24,074	25.3
徳島県	0.3	0.3	徳島県	14,982	28,502	90.2

運輸局ベース	23Q2	24Q2	運輸局ベース	23Q2	24Q2	前年比伸び率
北海道	4.9	4.4	北海道	289,963	402,072	38.7
関東	58.0	55.4	関東	3,437,098	5,109,278	48.7
中部	9.8	11.9	中部	578,504	1,099,189	90.0
近畿	44.4	44.5	近畿	2,626,682	4,107,678	56.4
九州	13.0	11.9	九州	771,487	1,098,968	42.4

出所:JNTO『訪日外客統計』及び観光庁『インバウンド消費動向調査』より推計。

表3 費目別訪日外国人消費単価の比較：関西2府4県

	消費単価	費目別						
		宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	
2023年4-6月期 (万円/人)	滋賀県	4.3	1.5	1.3	0.1	0.1	0.2	0.0
	京都府	5.3	2.1	1.3	0.2	0.2	0.9	0.0
	大阪府	9.1	2.6	2.1	0.3	0.5	3.0	0.0
	兵庫県	3.5	1.1	1.0	0.0	0.3	0.6	0.0
	奈良県	0.9	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0
	和歌山県	3.3	1.3	0.7	0.1	0.0	0.6	0.0
	<b>2府4県</b>	<b>4.4</b>	<b>1.5</b>	<b>1.1</b>	<b>0.1</b>	<b>0.2</b>	<b>0.9</b>	<b>0.0</b>
2024年4-6月期 (万円/人)	滋賀県	4.1	2.5	0.8	0.1	0.1	0.4	0.0
	京都府	5.5	2.2	1.4	0.2	0.2	1.1	0.0
	大阪府	9.8	2.6	2.1	0.2	0.4	4.0	0.0
	兵庫県	3.6	1.1	0.9	0.1	0.1	1.2	0.0
	奈良県	0.9	0.2	0.3	0.0	0.1	0.2	0.0
	和歌山県	4.6	2.3	1.1	0.1	0.1	0.6	0.0
	<b>2府4県</b>	<b>4.8</b>	<b>1.8</b>	<b>1.1</b>	<b>0.1</b>	<b>0.2</b>	<b>1.2</b>	<b>0.0</b>
前年同期比(%)	滋賀県	-4.7	66.1	-40.1	-6.9	10.2	88.5	-
	京都府	4.4	5.8	4.9	-4.9	5.1	19.9	-
	大阪府	8.3	0.1	0.4	-20.0	-13.7	34.2	-
	兵庫県	2.7	2.2	-7.3	70.0	-69.0	114.2	-
	奈良県	0.8	-14.6	-10.9	33.1	-8.2	66.9	-
	和歌山県	40.8	79.4	62.4	88.5	113.2	1.3	-
	<b>2府4県</b>	<b>8.4</b>	<b>24.4</b>	<b>-2.1</b>	<b>2.2</b>	<b>-20.6</b>	<b>39.2</b>	<b>-</b>

訪日外客消費額	23年4-6月期 (万円)	24年4-6月期 (万円)	前年同期比 (%)
関西2府4県	33,274,298	54,244,744	63.0
全国	123,190,000	214,020,000	73.7

(注)全目的ベース。2019年は確報、24年4-6月期は速報(上図も同様)。消費単価にはパッケージ参加費が含まれる。

出所:観光庁『インバウンド消費動向調査 参考表都道府県別集計』より作成。



表4 2024年8月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)
	8月	8月		1-8月	1-8月	
総数	2,157,190	2,933,000	36.0	15,190,280	24,007,900	58.0
総数(中国除く)	1,792,962	2,187,200	22.0	13,917,956	19,412,700	39.5
韓国	569,092	612,100	7.6	4,324,398	5,811,900	34.4
中国	364,228	745,800	104.8	1,272,324	4,595,200	261.2
台湾	396,346	564,300	42.4	2,589,320	4,115,200	58.9
香港	206,267	246,600	19.6	1,332,441	1,801,800	35.2
タイ	33,166	34,700	4.6	580,578	706,500	21.7
シンガポール	20,276	24,800	22.3	298,299	352,900	18.3
マレーシア	19,206	17,200	-10.4	230,815	278,300	20.6
インドネシア	20,792	22,100	6.3	250,937	315,500	25.7
フィリピン	38,627	39,000	1.0	367,480	496,300	35.1
ベトナム	50,945	52,400	2.9	396,616	434,000	9.4
インド	12,826	16,100	25.5	105,414	152,900	45.0
豪州	27,565	41,000	48.7	338,000	551,600	63.2
米国	138,362	174,000	25.8	1,309,415	1,768,100	35.0
カナダ	36,859	46,900	27.2	258,911	367,400	41.9
メキシコ	8,238	12,100	46.9	53,130	92,100	73.3
英国	23,837	29,400	23.3	200,963	280,800	39.7
フランス	25,866	31,400	21.4	179,132	253,100	41.3
ドイツ	19,999	24,100	20.5	145,795	204,400	40.2
イタリア	24,113	34,700	43.9	97,446	149,200	53.1
スペイン	17,283	25,900	49.9	69,798	110,500	58.3
ロシア	3,355	6,900	105.7	22,776	53,700	135.8
北欧地域	6,442	6,900	7.1	72,019	96,500	34.0
中東地域	8,701	11,400	31.0	70,595	99,400	40.8
その他	84,799	113,200	33.5	623,678	920,600	47.6

表5 2024年6月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)
	6月	6月		6月	6月		6月	6月		6月		
総数	2,880,041	3,140,642	9.0	2,614,533	2,913,631	11.4	151,577	102,531	-32.4	113,931	124,480	9.3
韓国	611,867	703,277	14.9	568,756	676,967	19.0	28,323	15,379	-45.7	14,788	10,931	-26.1
中国	880,651	665,617	-24.4	813,189	609,272	-25.1	32,195	23,528	-26.9	35,267	32,817	-6.9
台湾	461,085	574,487	24.6	444,467	561,037	26.2	10,395	7,927	-23.7	6,223	5,523	-11.2
香港	209,030	250,604	19.9	204,751	247,237	20.8	3,333	2,048	-38.6	946	1,319	39.4
タイ	62,984	54,604	-13.3	56,814	49,972	-12.0	3,484	2,283	-34.5	2,686	2,349	-12.5
シンガポール	47,264	58,925	24.7	43,854	56,700	29.3	3,076	1,919	-37.6	334	306	-8.4
マレーシア	30,534	22,042	-27.8	27,185	20,125	-26.0	2,280	1,318	-42.2	1,069	599	-44.0
インドネシア	49,290	43,052	-12.7	43,203	34,092	-21.1	2,260	1,224	-45.8	3,827	7,736	102.1
フィリピン	46,842	65,011	38.8	40,168	54,397	35.4	2,348	4,910	109.1	4,326	5,704	31.9
ベトナム	35,419	47,458	34.0	15,939	18,127	13.7	3,530	2,886	-18.2	15,950	26,445	65.8
インド	15,359	19,884	29.5	7,360	12,725	72.9	5,244	4,443	-15.3	2,755	2,716	-1.4
豪州	37,283	61,817	65.8	33,353	59,129	77.3	2,913	2,000	-31.3	1,017	688	-32.4
米国	175,491	296,414	68.9	151,928	281,918	85.6	18,571	10,684	-42.5	4,992	3,812	-23.6
カナダ	25,402	40,989	61.4	22,764	39,387	73.0	1,857	1,035	-44.3	781	567	-27.4
メキシコ	5,676	10,757	89.5	5,027	10,276	104.4	472	304	-35.6	177	177	0.0
英国	25,801	28,828	11.7	19,413	25,005	28.8	4,981	2,718	-45.4	1,407	1,105	-21.5
フランス	21,317	23,150	8.6	16,084	19,760	22.9	3,769	2,155	-42.8	1,464	1,235	-15.6
ドイツ	15,697	16,603	5.8	10,558	13,186	24.9	4,274	2,752	-35.6	865	665	-23.1
イタリア	11,357	14,990	32.0	8,657	13,224	52.8	1,995	1,383	-30.7	705	383	-45.7
ロシア	8,844	5,616	-36.5	6,421	4,619	-28.1	1,582	583	-63.1	841	414	-50.8
スペイン	9,762	12,907	32.2	8,581	12,108	41.1	780	486	-37.7	401	313	-21.9
中東地域	7,747	14,086	81.8	4,822	12,971	169.0	1,369	708	-48.3	1,556	407	-73.8
その他	85,339	109,524	28.3	61,239	81,397	32.9	12,546	9,858	-21.4	11,554	18,269	58.1

注) 目的別訪日外客数の定義については、図3注参照。  
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2024年9月18日付より筆者加工